

第3回井上靖記念文化賞の受賞者について

第3回井上靖記念文化賞選考委員会を2月16日（土）に東京都内において開催し、次のとおり受賞者が決定いたしました。

1 井上靖記念文化賞について

文学、美術、音楽及び歴史等の文化活動において優れた作品や活動実績を有し、また、その活動を通じて継続的に地域や社会への貢献を行っている個人又は団体に賞を贈り、更なる文化の発展に寄与することを目的としています。

- ※ 第1回受賞者は、菅野昭正氏（世田谷文学館長）・小田豊氏（六花亭製菓(株)元代表取締役社長）。
- ※ 第2回受賞者は、芳賀徹氏（国際日本文化研究センター名誉教授）。特別賞に織田憲嗣氏（東海大学名誉教授）。

2 受賞者（※主な経歴は別紙）

(1) 井上靖記念文化賞（記念品及び賞金100万円）

（受賞者名）	（職業）	（受賞の理由）
おおしろ たつひろ 大城立裕 ・1925年9月19日生（93歳） ・沖縄県那覇市在住	作家	戦後日本文学に、豊かな稔りと鋭い問題意識をもたらし続ける「沖縄文学」を牽引。

(2) 井上靖記念文化賞 特別賞（記念品及び賞金50万円）

（受賞者名）	（職業）	（受賞の理由）
いとう かずひこ 伊藤一彦 ・1943年9月12日生（75歳） ・宮崎県宮崎市在住	歌人， 若山牧水記念文学館長	宮崎県を起点に『老いて歌おう』を責任編集する歌人。全国版17集に及ぶ。

3 選考委員（5名）

篠 弘（歌人・日本現代詩歌文学館館長），辻原 登（作家・県立神奈川近代文学館館長），
 酒井 忠康（美術評論家・世田谷美術館館長），藤澤 全（元日本大学教授・国際関係博士），
 斉藤 佳典（北海道新聞社編集局文化部長）

4 贈呈式

- (1) 日 時 平成31年5月18日（土） 午後（※開始時間は調整中）
- (2) 会 場 アートホテル旭川
- (3) 内 容 賞の贈呈，受賞者の言葉等

5 主催

一般財団法人井上靖記念文化財団
 井上靖記念事業実行委員会

（問合せ先）井上靖記念事業実行委員会事務局

旭川市教育委員会 社会教育部文化振興課文化振興係

担当：酒井・鈴木（0166-25-7558）

【受賞者の業績等】

井上靖記念文化賞 大城 立裕 氏

1 略歴・活動内容

- ・ 1950年以降、琉球政府通産局通商課長、県立博物館長などを務め、86年定年退職。
- ・ 一方、敗戦直後から、青春の挫折と沖縄の運命を繋げる思想的な動機で文学にかかわり、1959年に『小説琉球処分』の新聞掲載を開始。67年『カクテル・パーティー』で沖縄初の芥川賞作家となる。
- ・ 戦後の沖縄文学を牽引して、沖縄の歴史と文学を主題とした小説や戯曲、エッセイを書き続ける。2002年『大城立裕全集』全13巻を刊行。2015年初の私小説『レールの向こう』で川端康成文学賞受賞。

2 主な著書など

- ・ 『神女』, 『天女死すとも』, 『花の碑』
— 琉球／沖縄の歴史、民族をテーマとした前近代史3部作
- ・ 『小説琉球処分』, 『恩讐の日本』, 『まぼろしの祖国』
— 同近代史3部作
- ・ 『日の果てから』(平林たい子文学賞), 『かがやける荒野』, 『恋を売る家』
— 同戦後史3部作
- ・ 小説『カクテル・パーティー』, 『対馬丸』, 『普天間よ』, 『レールの向こう』, 『あなた』のほか、『花の幻——琉球組踊十番』, 『真北風(まにし)が吹けば——琉球組踊続十番』など著書多数。

3 主な受賞歴

- ・ 1967年 『カクテル・パーティー』で芥川賞
- ・ 1990年 紫綬褒章
- ・ 1991年 沖縄タイムス賞
- ・ 1993年 『日の果てから』で平林たい子文学賞
- ・ 1995年 那覇市文化功労者
- ・ 1996年 勲四等旭日小綬章
- ・ 1998年 琉球新報賞
- ・ 2000年 沖縄県功労賞
- ・ 2010年 日本演劇協会演劇功労者表彰
- ・ 2015年 『レールの向こう』で川端康成文学賞

【受賞者の業績等】

井上靖記念文化賞特別賞 伊藤 一彦 氏

1 略歴・活動内容

- ・ 宮崎市在住の歌人。心豊かに歌う、ふれあい短歌集『老いて歌おう』全国版の編集者。
- ・ 「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」は、1995年宮崎県内の介護施設でボランティアグループにより開催した「出前短歌会」が契機となり、九州大会、さらに2002年からは全国大会が開催され、毎年上記アンソロジーを刊行するに至る。伊藤氏は、日常的な指導に携りながら、アンソロジーの選歌、編集に従事する。
- ・ 一方、青少年の表現力育成のために「若山牧水・短歌甲子園」を発案運営し、全国の高校生を対象に日向市で2018年まで8回開催している。
- ・ 宮崎県立看護大学名誉教授、宮崎県立図書館名誉館長、若山牧水記念文学館長、現代歌人協会常任理事も務める。

2 主な著書など

- ・ 歌集『海号の歌』『新月の蜜』『微笑の空』『月の夜声』『土と人と星』『遠音よし遠見よし』など、評論『若山牧水』など
- ・ 「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」は、第1回宮崎県大会から数えて昨年で22回目を迎える。昨年、『老いて歌おう2018 全国版第17集』を刊行。全国大会となった2002年以降毎年刊行されるアンソロジーは17集に至っている。

3 主な受賞歴

- ・ 1996年 読売文学賞
- ・ 2005年 寺山修司短歌賞
- ・ 2008年 遼空賞
- ・ 2010年 斎藤茂吉短歌文学賞
- ・ 2013年 小野市詩歌文学賞
- ・ 2015年 現代短歌大賞
- ・ 2016年 毎日芸術賞
日本一行詩大賞
- ・ 2017年 西日本文化賞
- ・ 2018年 詩歌文学館賞